

ベビーカーをご使用いただく前にお読みください。

ベビーカー編

B型車いす
Viit(ヴィット)

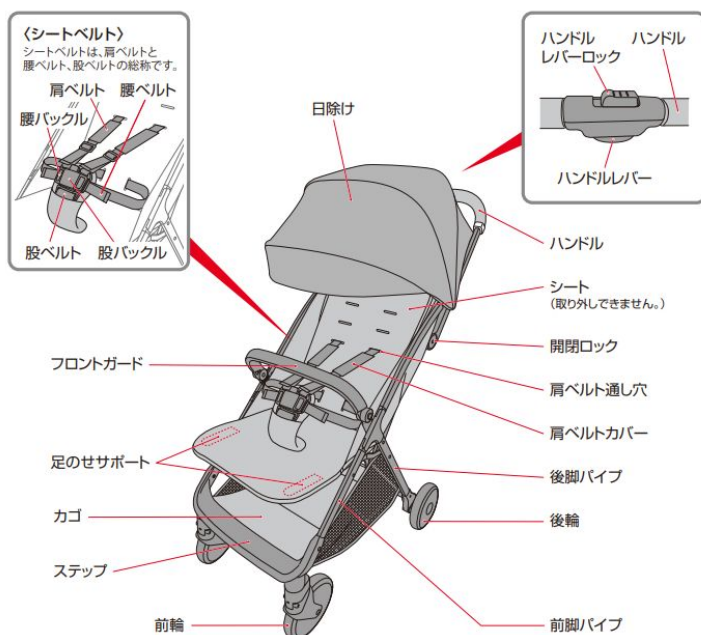
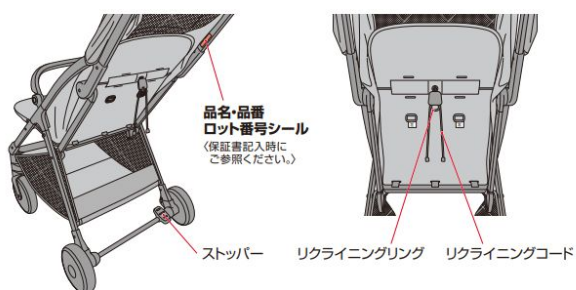
Aprica Viit取り扱い説明書引用

Viit(B型ベビーカー)の各名称

製品の特徴

- ・ハンドル：背面側固定式
- ・カゴ耐荷重：5kg
- ・シートベルト：マグネットバックルを使用

※本製品はチャイルドシートの取り付けには対応していません。



使用範囲	生後7カ月 [※] ～48カ月(体重約22kg)まで ・最大使用は、お子さまが生後48カ月もしくは体重22kgのどちらか早い方に達するまでとなります。 ・お子さまの体重が17kgを超えて22kgまでのご使用については、SGマーク制度の適用対象外になります。(SGマーク制度についてはP23参照)
適合基準	SG基準B形
望ましい連続使用時間	座らせた姿勢:1時間以内

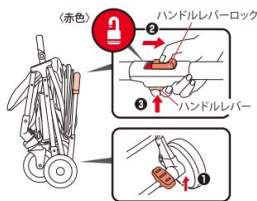
※ここでいう生後7カ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ胎週数37週以上を満たし、7カ月を経過した乳児を指します。この条件を満たさないお子さまへのご使用については医師にご相談ください。

開き方

警告 ・開閉操作は、お父さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。可動部でお父さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどして怪我をさせるおそれがあります。
・お父さまにベビーカーを操作させない。転倒や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

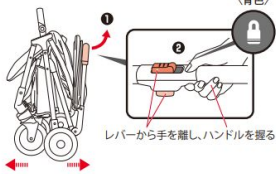
お願い ・梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2～3回繰り返して操作してください。

1 開く前に



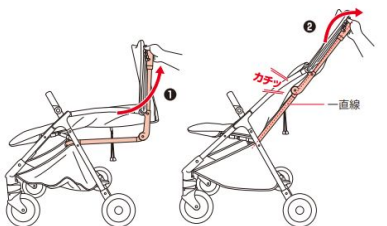
- 1 ストッパーをロック解除する。(P11参照)
- 2 ハンドルレバーロックを矢印の方向へスライドさせた状態で、(赤色が表示されます。)
- 3 ハンドルレバーを強く握る。

2 開く



- 1 そのままハンドルを軽く持ち上げ、車体を少し開く。
- 2 ハンドルレバーとハンドルレバーロックから手を離してレバーの脇に手をずらしハンドルを握る。レバーから手を離すと、ハンドルレバーロックが自動でスライドして戻ります。(青色が表示されます。)

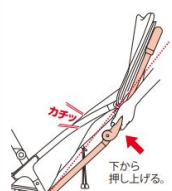
3 車体のロック



- 1 そのままハンドルを持ち上げ、
- 2 「カチッ」と音かしてハンドルがロックされるまでさらにハンドルを引き上げる。

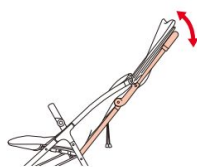
フレームが一直線に近くなるくらいまで引き上げたら、ハンドルを矢印のようにやや下向きに弧を描くように動かすとロックしやすくなります。

うまくハンドルがロックされない場合は



・上図の位置のフレームを下から押し上げてロックさせてください。

4 ロックの確認



- ハンドルを2～3回上下に動かし、ベビーカーが折りたたまれないこと(完全に開いていること)を確認する。

警告 ・ベビーカーを開いた後は必ずハンドルを上下に動かし、ベビーカーが折りたたまれないことを確認すること。使用中にベビーカーが折りたたまれ、お父さまが落ちたり、挟まれるおそれがあります。

ベビーカー使用中は



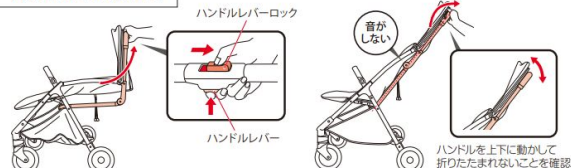
- ベビーカー使用中はハンドルレバーとハンドルレバーロックを握らないでください。常に青色が表示されている状態で使用してください。

警告

・ベビーカー使用中はハンドルレバーとハンドルレバーロックを握らない。必ずハンドル部に青色が表示された状態でベビーカーを走行させること。ベビーカーが折りたたまれ、お父さまが落ちたり、挟まれるおそれがあります。



開閉ロックについてご注意ください



ハンドルレバーとハンドルレバーロックから手を離さず、握ったままハンドルを引き上げた場合、前ページの「車体のロック」の②で「カチッ」と音がしない場合があります。必ず、4「ロックの確認」のようにしてベビーカーが折りたたまれないことを確認してください。

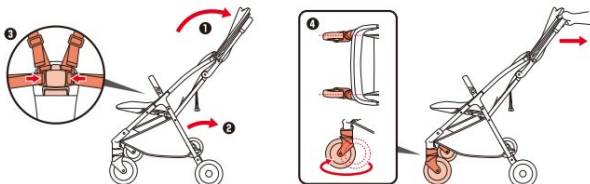
折りたたみ方

警告 ・開閉操作は、お父さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。可動部でお父さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどして怪我をさせるおそれがあります。
・お父さまにベビーカーを操作させない。転倒や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

注意 ・シートベルトのバックルをとめてからベビーカーを折りたたむこと。シートベルトが開閉ロック部分に挟まってベビーカーが折りたためなくなったり、バックル破損やバックルのマグネット部分への異物の付着のおそれがあります。

お願い ・梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2～3回繰り返して操作してください。

1 折りたたむ前に

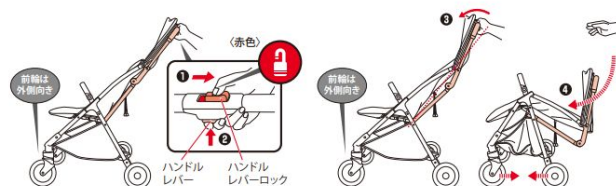


- 1 日除けを閉じる。
- 2 ココから荷物を取り出す。
- 3 シートベルトのバックルをとめる。

- 4 車体をまっすぐ後ろに引き、前輪が外側に向くようにする。

前輪が外側を向いていないと折りたたみ後に車体が転倒する場合があります。

2 ロックの解除と折りたたみ



- 1 ハンドルレバーロックを矢印の方向へスライドさせた状態で、(赤色が表示されます。)
- 2 ハンドルレバーを強く握る。

- 3 握ったまま、軽くハンドルを前に倒す。
・開閉ロックが解除されます。
- 4 ハンドルから手を離す。
・車体が自然に折りたたまれていきます。

3 折りたたみロックとロックの確認



- 1 最後まで折りたたまると、「カチッ」と音がして、ロックされます。
- 2 軽くハンドル部を持ち上げて、車体が開いていないことを確認してください。

車体が開いてしまう場合は、矢印の方向に押し込み、ロックさせてください。

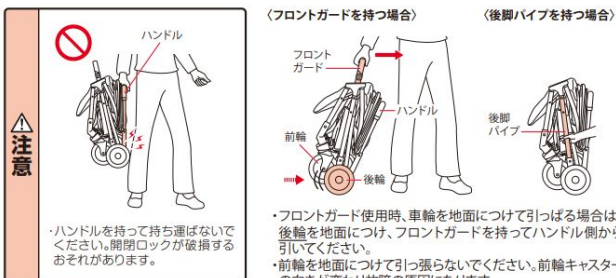
前輪の向きに注意



前輪が内側を向いている。

折りたたんだ後に

・折りたたんだ後にベビーカーを運ぶ場合は、フロントガードが後脚パイプのどちらかを持つててください。



注意

・ハンドルを持って持ち運ばないでください。開閉ロックが破損するおそれがあります。

- ・フロントガード使用時、車輪を地面につけて引っぱる場合は、後輪を地面につけ、フロントガードを持ってハンドル側から引いてください。
- ・前輪を地面につけて引っぱらないでください。前輪キャスターの向きが変わり故障の原因になります。

各種使い方

ストッパーの使い方

警告 ・お子さまを乗せる時や降る時は必ずストッパーをロックすること。
 ・お子さまを乗せた時には、ストッパーを過信しない。路面の状態、構造の機能上、耐久性などから、絶対的に動かないようにできるものではありません。
 ・ストッパーをロックしていても、お子さまを乗せたままベビーカーから離れない。

注意 ・お子さまを乗せていない時でも、ベビーカーから離れる場合は、ストッパーをロックしてください。

・ストッパーを操作することで、左右両方の後輪をロック/ロック解除することができます。

(ストッパーをロックする場合)



- 1 ストッパーを下げ、ロックする。
- 2 ベビーカーを前後に動かしてストッパーのロックがかかっていることを確認する。

(ストッパーをロック解除する場合)



- 車輪のストッパーを上げ、ロック解除する。

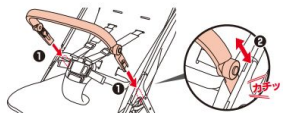
フロントガードの使い方

警告 ・フロントガードを操作する時は、お子さまの指や手足を挟まないようにすること。
 ・フロントガードを持って、お子さまを乗せたままのベビーカーを持ち上げたり、引っ張ったりしない。
 ・フロントガードを取り付けた後は、引っかけ、左右ともロックされていることを確認する。
 ・フロントガードの有無に関わらず、お子さまを乗せる時は必ずシートベルトを締める。

・本製品はフロントガードを本体から取り外した状態でもご使用いただけます。

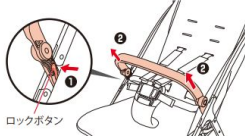
取り付け方

・フロントガードにあるロゴの向きを上下確認の上、左右両端とも確実に差し込んでください。



- 1 フロントガード両端の差し込み部に向かって「カチッ」と音がするまで差し込む。(左右)
- ・シートの生地を挟みこまないよう注意してください。
- 2~3回引っ張り、確実に取り付けられていることを確認する。

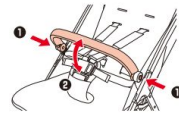
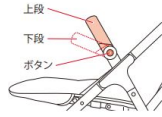
取り外し方



- 1 フロントガード内側のロックボタンを押しながら、(左右)
- 2 フロントガードを上方に引き抜く。

フロントガードの角度調節

・フロントガードは、お好みに合わせて角度を調節してご使用いただけます。(2段階)



- 1 両側のボタンを押しながら、
- 2 角度を調節する。

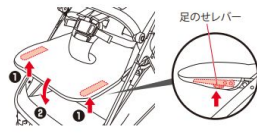
警告 ・フロントガードを下段よりさらに下げて使用したり、フロントガードの上からお子さまを乗せたりしない。思わぬ事故につながるおそれがあります。
 ・お子さまにボタンの操作をさせない。急に角度が変わってお子さまの身体にぶつかるなどのおそれがあります。

足のせサポートの使い方

・お子さまを楽な姿勢にすることをサポートします。
 ・足のせサポートの向きは水平と下向きに2段階に調節することができます。
 ※上向きでは使用できません。

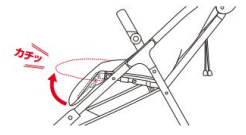


下げ方



- 1 シート内部の足のせレバーをつまみながら(左右)
- 2 足のせサポートを下げる。

上げ方



- 「カチッ」と音がして固定されるまで、足のせサポートを上げる。(下向きの場合は、固定されません。)

警告 ・足のせサポートを上向きに上げて使用しない。思わぬ事故の原因になります。
 ・シート先端の足のせサポートのカバーは取り外さない。足のせサポート可動部が露出して、お子さまの手足や使用者の手指を挟むおそれがあります。



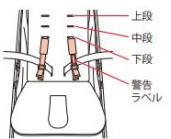
肩及びシートベルトの調節

肩ベルトの高さ調節

警告 ・お子さまの成長に合わせて肩ベルトの高さを調節してください。

(肩ベルト位置)

・箱から取り出した状態では、下段にセットされています。



(肩ベルトの目安)

・肩の位置より下段に通す。



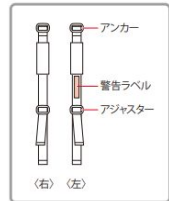
・肩ベルトの位置は以下の3段階に調節してください。

月齢の目安	肩ベルト通し穴位置
24か月~48か月	上 段
12か月~24か月	中 段
7か月~12か月	下 段

※上記表示は目安であり個人差があります。

肩ベルトの高さ調節のしかた

・シートベルトのバックルを解除して、肩と腰のベルトを分離しておきます。

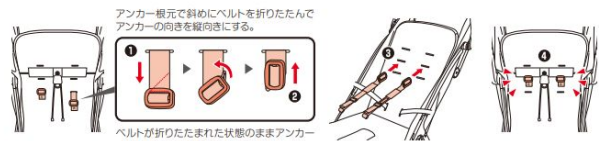


確認ポイント

(ベビーカー背面)



- ・左右の肩ベルトは同じ高さにする。
- ・警告ラベルが表に来る。
- ・肩ベルトがねじれていないこと。
- ・背面から見て左側に「左」、右側に「右」のラベルの付いた肩ベルトが通っている。



- 1 通し穴に対して肩ベルトのアンカーを図のような向きになるようにベルトを折りたたむ。
- 2 そのまま通し穴にアンカーを通して、穴の反対側からアンカーを引き出す。
- 3 使用する高さの通し穴にアンカーを通して、背面側に引き出す。
- 4 肩ベルトを2~3回引っ張り、肩ベルトが外れないことを確認する。

アンカーの半分ほどが穴を通ったら、反対側からアンカーとベルトの縫い目部分をしっかりと引っ張り出すと通しやすくなります。(P24「引っ掛」も参照ください)

シートベルトの使い方

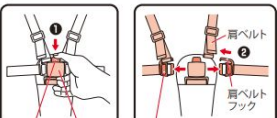
バックルについて

・本製品のシートベルトのバックル(股バックルおよび腰バックル)には、マグネットが使用されています。

警告 ・バックルのマグネットがベースメーカーの作動に影響を及ぼすおそれがあります。
 ・ベースメーカーをご使用のお子さまを本製品に乗せしないでください。
 ・ベースメーカーをご使用の方がベビーカーを操作される場合は、ベースメーカーの植込み部位をバックルに近づけないでください。

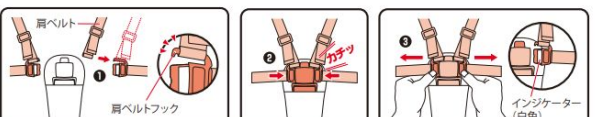
注意 ・クレジットカードなど、マグネットの影響を受けやすいものをお子さまのバックル付近に近づけないでください。
 ・シートベルトを外した状態でベビーカーを折りたたんだり、ベビーカーを放置したり、バックルのマグネット部分に異物が付着し確実にロックできなくなったりするおそれがあります。

シートベルトの外し方



- 1 股バックルの解除ボタンを押して、腰バックルを外す。(左右の腰バックルが同時に外れます。)
- 2 肩ベルトを肩ベルトフックから抜く。(左右)

シートベルトの締め方(バックルのため方)



- 1 肩ベルトを肩ベルトフックに差し込む。(左右)
- 2 肩ベルトフックの奥まで完全に通してください。
- 3 腰バックルを股バックルに差し込む。(左右)
- 4 マグネットが腰バックルが引き込まれ、「カチッ」と音がしてロックします。

注意 ・インジケーター(白色)が見えている場合は完全にロックされていません。ベルトや布の挟み込み、異物の付着がないかを確認して差し込み直してください。
 ・肩ベルトフックと股バックルの間に肩ベルトの端部を挟み込まないようにご注意ください。

リクライニング調節

背もたれを倒す時

・肩ベルトをゆるめる。(P16参照)



- ①片方のお子さまを支えて、リクライニングリングを引く。
- ②リクライニングリングを引きながら背もたれを倒し、角度を調節する。

・リクライニング調節後、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトの長さを調節する。(P16参照)

〈お子さまの頭が背もたれ上端部より上まで来るようになったら〉



- お子さまが無理な姿勢にならないよう、リクライニング角度を起こしてご使用ください。

背もたれを起こす時



- お子さまの体重が背もたれにかかっていない状態で、リクライニングコードを左右に引く。
- ・リクライニングコードは片側ずつ引かず、左右同時に引いてください。

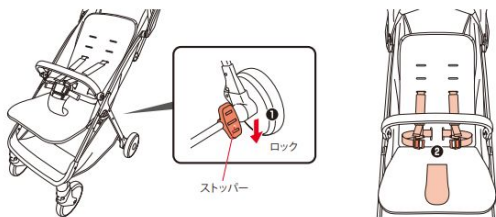
警告 リクライニングコードを過度に引きすぎない。本体や部品が変形したり、破損するなどして思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

注意 お子さまの体重を背もたれにかけた状態では、起こすことができません。

お子様の乗せ方

お子さまの乗せ方

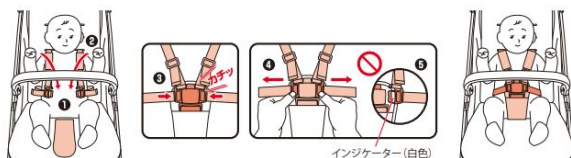
1 準備



- ①ストッパーをロックする。
- ②股バックルの解除ボタンを押し、腰バックルを外す。

・お子さまを乗せづらい場合は、フロントガードを取り外してから(P11参照)乗せてください。

2 お子さまを乗せる



- ①お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せる。
- ②お子さまの脇を肩ベルトに通す。
- ③バックルをとめる。
- ④左右の腰バックルを引っ張って外れないことを確認する。
- ⑤腰バックルのインジケーター(白色)が見えていないことを確認する。

注意 肩ベルトは装着時に警告ラベルが表に来るようにして使用してください。
肩ベルトがねじれていないか確認してください。

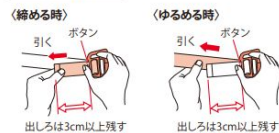
警告

・お子さまだけでベビーカーに乗り降りさせない。お子さまが自分でベビーカーに乗り込む場合は、必ず保護者の方がベビーカーを支えた状態で行うこと。転倒のおそれがあります。



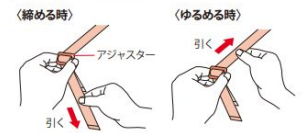
3 ベルトの調節

腰ベルト



- ボタンを押しながらベルトを引き、長さを調節する。

肩ベルト



- アジャスターを持って矢印の方向にベルトを引き、長さを調節する。

股ベルト



- ①ベルトを矢印の方向に送り、
- ②ベルトを引き、長さを調節する。
- ③ベルトの調節後、股バックル裏のホックを股ベルトカバーにとめる。



警告

・肩ベルト、腰ベルト、股ベルトはお子さまの成長に合わせて調節すること。
肩ベルト、腰ベルト、股ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり、お子さまが落下するおそれがあります。
腰ベルトの末端の出しろ(⇔部分)は必ず3cm以上残す。
リクライニングの角度を調節するたびに、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトの長さを調節する。

4 最後に



- ストッパーをロック解除する。

警告

シートベルトを締めた後は、左右の腰バックルを引っ張って外れないことを確認する。締め方が不完全な場合、使用中に外れてお子さまが落ち、けがをすることがあります。
肩ベルトは必ず肩ベルトフックに差し込んで使用すること。肩ベルトがお子さまの首に巻き付き窒息するおそれがあります。
バックルをとめる時に、お子さまの手や衣服を挟まないように注意してください。
シートベルトを締めていても、お子さまから目を離さない。お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれや、予期せぬ行動が思わぬ事故につながるおそれがあります。
お子さまの服装を股ベルトの位置に合わせて乗せること。頭側に寄りすぎるとベビーカーが後方に転倒するおそれがあります。